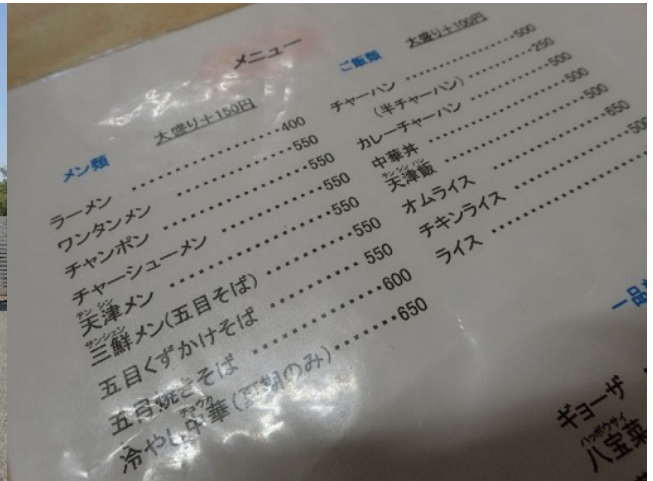


令和4年11/18～20 広島県にある海上自衛隊関連施設の研修旅行に行ってきました。参加者は大高会長、藤本副会長以下13名でした。朝、6時15分に新横浜駅に集合ということで皆さん眠たい目を擦りながらでしたが、一人も遅刻することなく無事に新幹線で広島駅まで移動。アップダウンがあり複雑な広島駅構内を迷子になりながらもホテルに到着し、荷物を預けると休む間もなくタクシーに分乗、宇品港へ。そこから江田島小用港まで高速船に揺られること20分、さらにタクシー移動でようやく初日の目的地「第一術科学校・幹部候補生学校」に着きました。なかなかハードな午前中でした。

今回もコロナ感染予防対策のため自衛官の皆様との会食は叶わず、正門近くにある中華料理「紅来軒」でそれぞれ昼食をとることになりました。昔から多くの自衛官方に愛されているお店の店内には卒業生の写真がたくさん飾られていました。味はもちろんのこと、おもてなしがとても行き届いており、なおかつとてもリーズナブルなので人気店なのも納得です。



(立派な入口ですがこちらは「受付」)



(紅来軒のメニュー表)

さて、午後はいよいよ研修スタートです。まずは三角の屋根がひと際目を引く大講堂を見学させていただきました。1917年に建造されて主に入学式や卒業式で使用されるそうですが、広島産の御影石を使用した構内は音の反響を考慮して設計されており、今日まで一度もマイクやスピーカーを使ったことがないそうです。壇上まで赤じゅうたんがひいてあり、卒業式でこの上を歩けるのは成績優秀者上位5名のみだそうです。今回は特別に登壇させていただき記念撮影をさせていただきました。とても貴重な体験でした。ありがとうございました。





次は赤レンガがきれいな幹部候補生学校を落合副学校長に案内していただきました。雨だれでレンガが汚れないように見えないところにまで細工がしてある窓には関心致しました。

本館は、船内生活を意識させるため、基本的に扉がありません。また、床材も一部は、旧日本海軍戦艦のデッキの木材が使用されており、その床は、入念に手入れをされていました。

校内ではまさに授業が行われている最中でしたが、中庭にある「同期の桜」をご紹介いただいたときは思わず「おお〜」と声が出てしまいました。樹齢が古くなってきたので支えが必要になってきたとのこと。この同期の桜には諸説あるそうですが、ここを巣立っていった若者にとってはこの樹こそが同期の桜であり、いつまでもそこにいて若者たちを見守っていて欲しいものです。



(幹部候補生学校)



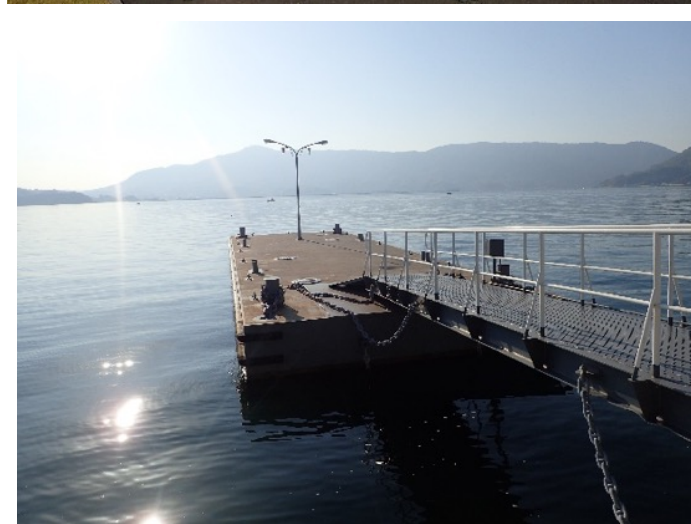
(同期の桜)





さて、次は教育参考館です。1936年に建てられましたが、費用はすべて寄付金によるものだそうです。正面の立派な柱は当時のお金で1本千円かかったそうです。貴重な資料が多数展示してあるとともにかつての海軍軍人の墓所としての一面もあるので、館内は撮影禁止、入館の際には身だしなみを整えるよう注意書きがあります。日本海海戦や第6潜水艇遭難、神風特別攻撃隊・人間魚雷「回天」どれもこれも本当に貴重な資料ばかりで、涙なしには読めませんでした。当時の軍人の方々が何を残し、何を伝えたかったのか、私も会社のトップとしてどうあるべきか深く考えさせられました。機会があれば読者の皆様もぜひお出かけください。

ほかにも生徒資料館では集合写真の中から谷事務局長を探したりと思い思いに見学させていただきました。とても良い思い出になりました。



(表栈橋 ここが正門です。)

(戦艦むつの主砲)





(特別に見学させていただきました生徒資料館です。)

初日の夜は広島と言えば牡蠣ということでかき小屋豊丸水産にて生、焼き、蒸し、カキフライに天ぷらと存分に牡蠣を堪能し明日に備えました。



二日目は電車で呉まで移動し、大和ミュージアムとてつのくじら館を見学しました。こちらは観光用になっているので説明が分かりやすくなっていました。中でも零戦が展示しているエリアは大人気で、写真を撮る観光客が多く見られました。お昼は向かいにある呉ハイカラ食堂の Teppan Curry。自衛隊員が船内で使用している物と全く同じ食器で食事ができる人気スポットです。夜は広島のグルメで忘れちゃいけないお好み焼き。その他にも地元グルメを堪能できたので皆さん大満足でした。



(零戦 実物)



(テッパンカレー)



最終日は希望者のみ帰りの新幹線を変更して各々市内観光に出かけました。時間の差はあれども目的地は皆同じで原爆ドームや平和記念公園を訪れたようです。私も平和記念資料館に行きましたが、子供のころ教科書で見た「人影の石」や一般市民の方々の多くの遺品や被爆された方々の写真等などたくさん展示されていました。3日間とも天候に恵まれて楽しかったなと思うのと同時に、今の日本があるのは多くの方々の犠牲の上になっているのだな、ときれいな空を見上げてしみじみ感じました。



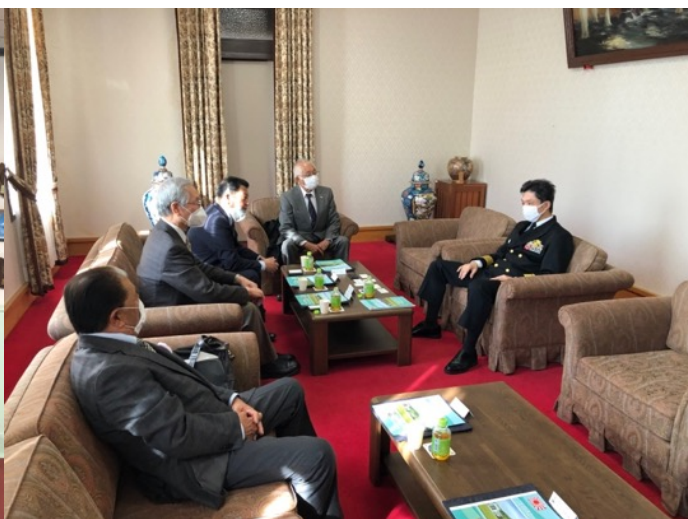
(人影の石)



(慰霊碑から平和の灯、原爆ドームが一行

最後になりますが、今回の研修にあたり色々ご尽力くださいました白根第1術科学学校長、広報係の西村様、落合幹部候補生学校副校長、そして関係各部の皆様へ深く感謝いたします。誠にありがとうございました。

(HP・広報委員 菊地 聡)



(役員による白根第1術科学学校長への表敬訪問)